

事務事業名	久保講堂施設維持管理事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731		
施策名	5	文化財の保護と継承			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	文化財保護法、真岡市久保講堂の設置、管理及び使用条例・使用条例施行規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和61 年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	2文化財保護費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	国登録文化財「久保講堂」（昭和13年建築、昭和61年移築、平成9年5月7日国登録文化財）を貴重な文化財として保存するとともに、市文化祭、芳賀教育美術展、盆栽展等の展示会場として活用している。また、機械整備、消防設備点検、館内清掃等を業務委託している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 見積り徴収（企画課一括） 契約締結 委託完了後に支払。床清掃、ワックス塗布及び窓ガラスクリーニング等の清掃業務、火災等を防ぐための消防設備の点検及び機械整備を委託。随時建物の破損箇所の修繕をした。 23年度計画 22年度と同様。		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 清掃委託日数	日	6	6	6	6	6
		イ 整備日数	日	365	365	365	365	365
		ウ 修繕箇所数	箇所	2	1	1	5	3
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 久保講堂の建物及び一般市民。		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 敷地面積	平方m	3,557.63	3,557.63	3,557.63	3,557.63	3,557.63
		イ 建築床面積	平方m	704.09	704.09	704.09	704.09	704.09
		ウ 市民数	人	66,465	66,712	82,997	82,584	82,126
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 建築物を良好な状態で、維持管理していく。各種芸術作品の発表及び展示の場として利用する。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 来場者数	人	5,340	5,280	4,250	3,540	3,500
		イ 利用日数	日	81	106	78	112	100
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 文化財の保存と市民の芸術文化の向上を図る。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 歴史や文化財に関心を持つ市民の割合	%		69.8	74.5	70.1	
		イ 文化財を大切にしたいと感じている市民の割合	%			95.4	92.3	
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	525	766	559	514	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	16	16	16	16	0
		人件費計(B)	千円	67	67	65	68	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	592	833	624	582	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	真岡小学校の体育館が完成し、久保講堂の取り壊しの方針が打ち出されたが、文化財としての価値が高いとして同校卒業生を中心とした市民から存続活動が広がっていた。昭和61年、市民の芸術文化の向上を図るため、真岡小学校から現地に移築し、維持管理と有効利用を図っている。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	市文化祭等で書画、盆栽等の展示物の会場として、年間100日程度使用し、年間約3,500人の入場者数があり、有効利用されている。平成9年5月、県内の建造物としては初めて国の登録有形文化財に指定された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民から美術展等の展示会場として継続を望む声あり。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化財保存や芸術文化の向上に役立つ。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 国の登録文化財である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 文化財の保存と併せて、市民の芸術文化向上のために有効利用を目指しており、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 文化財として適正に維持管理され、芸術作品の展示会場として有効に活用されている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 登録文化財なので廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 文化財として後世に伝え残す唯一の手段で、他に類似事業がない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 維持管理に要する必要最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 維持管理に要する人件費のみである。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 維持管理は所有者(市)の責務である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							